※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３０３ |
|---|---|

# 令和５年度　工芸科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 工芸Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校工芸Ⅰ」　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・素材の特徴と適切な用具の使い方を学び、丁寧な制作をしよう。
・日常を豊かにする個性的な作品を制作しよう。

## ２　学習の到達目標

・素材や道具の特徴や機能を理解し、適切に使用している
・主題や条件に合わせて構想を練りアイデアスケッチを行い、制作工程を確認しながら機能と造形美の調和を考え表現している。
・主体的に制作や鑑賞に取り組み、見方や感じ方を深めている。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。<br>創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから発想や構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 工芸や工芸の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 鑑賞 | 教科書等を鑑賞し多様な表現について学び、工芸Ｉの学習イメージを持つ。<br>レポート記入後、鑑賞内容を発表する。 | a:工芸作品への理解を深めている<br>b:工芸作品や文化に対する感じ方を深めている<br>c:工芸の表現に関心を持ち意欲を高めている | レポート・発表内容 | レポート・発表内容 | 鑑賞・発表態度 |
| | 菓子鉢 | 【陶芸】<br>・底面が円でない等の条件に合うデザインを考え、ひも作りで成形する。<br>・化粧土を塗り、掻き落とし落とし文様を施す。素焼き後釉薬をつけ本焼きする。<br>・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入する。 | a:土の特性を生かし、用具を適切に使用し工夫している。<br>b:アイデアを生かし、技法を理解して立体で表現できている。掻き落としによる美しさを考え、文様を施している。<br>c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。 | 制作方法<br>完成作品<br>用具や素材の適切な使用 | アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容 | 制作態度<br>準備、片付け<br>レポート内容 |
| | 高校展レポート | 【鑑賞】<br>高校展または他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く。 | a:作品や技法に理解を深めている。<br>b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。<br>c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。 | レポート内容 | レポート内容 | レポート内容 |
| 2学期 | 連続版によるエコバッグ | 【テキスタイルデザイン】<br>・連続させると形の一部がつながり、向きの組み合わせ方で違う形が生まれる版のデザインを考える。<br>・彫刻刀で版を彫り、連続させる向きのパターンと配色を考え、布袋に 3～4色重ねて摺る。<br>・布袋の表と裏で違ったデザインができるように工夫する。<br>・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。 | a:彫刻刀やアクリルガッシュ等の使用方法と特性を理解し、制作ができる。<br>b:版の向きと連続を理解し、効果的なデザインを考えることができる。試し摺りを繰り返し、工夫を重ねている。<br>c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。<br>完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。 | 制作方法<br>完成作品<br>用具や素材の適切な使用 | アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容 | 制作態度<br>準備、片付け<br>レポート内容 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 起き上がりうずら | 【立体・粘土・彩色】<br>・起き上がり小法師の仕組みを学び、粘土の重さの違いを利用してうずら卵の形を作る。<br>・2つ作り、1つには磁石を仕込む。<br>・うずら卵を観察しながらそっくりに彩色する。<br>・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。 | a:素材や絵の具の使用方法と特性を理解し制作ができる。起き上がり小法師の仕組みを理解し、制作ができる。<br>b:試作しより良くなるように工夫を重ねている。彩色材料を生かし表現の幅を広げている。<br>c: 学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。<br>完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。 | 制作方法<br>完成作品<br>用具や素材の適切な使用 | アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポー内容 | 制作態度<br>準備、片付け<br>レポート内容 |
| 3学期 | エコー装置 | 【立体・針金・紙】<br>・針金でバネを作り、ペットボトルやカップに固定してエコーのかかる仕組みを作る。<br>・新聞紙とガムテープで外側の型を作り、シュレッダー粘土をつけて個性的な形を作る。<br>・彩色した型にバネ入りペットボトルを入れ、蓋をつける。<br>・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。 | a:素材や用具の使用方法と特性を理解し制作ができる。エコーのかかる仕組みを理解し制作ができる。<br>b: 試作しより良くなるように工夫を重ねている。材料を生かし表現の幅を広げている。<br>c: 学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。<br>完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。 | 制作方法<br>完成作品<br>用具や素材の適切な使用 | アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容 | 制作態度<br>準備、片付け<br>レポート内容 |
| | 校内展レポート | 【鑑賞】<br>・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。 | a:作品や技法に理解を深めている。<br>b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。<br>c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。 | レポート内容 | レポート内容 | レポート内容 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度